

第257回

荒川の人

大好きな都電荒川線のすぐそばにギャラリーをオープン!
「ゆる鉄」を追い求める永遠の鉄道少年。

鉄道写真家 中井 精也さん

【プロフィール】1967年東京生まれ。鉄道にまつわるすべてのものを独自の視点で撮影する新しい鉄道写真のジャンル「ゆる鉄」を生み出す。毎日必ず鉄道写真を撮影し、紹介するブログ「1日1鉄!」は今年で15年目に突入。写真撮影のほか、講演やテレビ出演など幅広く活動。「世界一わかりやすいデジタル一眼レフカメラと写真の教科書」(インプレス) など著書・写真集も多数出版。2015年講談社出版文化賞・写真賞受賞、2015年日本写真協会 新人賞受賞。



昨年5月、念願だったというご自身のギャラリー「ゆる鉄画廊」をジョイフル三ノ輪内にオープンした中井精也さん。区内の新たな人気スポットとして全国各地から多くの人が詰めかけ、商店街に活気を呼んでいます。「ゆる鉄画廊」を開設するまでの経緯や鉄道写真家としての信条などについてお話をうかがいました。

“鉄”分多めの青春時代から鉄道写真家へ あの頃の自分を取り戻すためにブログを開始

日本を代表する鉄道写真家のひとりとして活躍する中井さんと鉄道写真との出会いは小学6年生の頃にさかのぼります。税理士として働くかわら、写真展を開催するほどの腕前だったというお父さんから譲り受けた一眼レフカメラ、キヤノンFTbを携え、昆虫や子どもたちの間で大ブームを起こしていたスーパーカーを写真に収めていたそうです。その後、導入されたばかりの中央線新型車両の写真を実家近くの阿佐ヶ谷駅のホームで撮り始めた頃から一気に鉄道写真への愛が加速。「撮り鉄」の道を突き進むこととなります。中学、高校、大学では鉄道研究部に在籍。写真を撮ることだけでなく、時刻表や地図に載っている駅にはどんな景色が広がっているのか、想いをはせながら鉄道で旅をする楽しさに目覚めたのもこの頃でした。

「中央線201系という車両の前面上半分の黒いパネルがかっこよくて、夢中でシャッターを切っていましたね。写真を撮ることに自信を深めたのは小中高一貫校に通っていた中学2年の頃。学園祭で行われる鉄道の写真展で高校生の先輩方に交じって、僕の作品が展示された時は本当に感激したのを覚えています。大学生になると鉄道雑誌に写真を持ち込むようになり、編集部の人に褒められようものなら、自分は天才なんじゃないかと有頂天になっていましたね(笑)」

大学卒業後は鉄道写真家の真島満秀さんに師事。厳しい師匠の下で多忙な日々を5年ほど過ごした後、独立を果たしました。ある日、鉄道写真家として着実にキャリアを積んでいた中井さんに転機が訪れます。「あれほど憧れていた仕事でありながら、ある鉄道の撮影の依頼を受けた際に『面倒くさいなあ』という思いが頭の中をよぎってしまったんです。その時は自分自身にショックを覚えました」

原点に立ち返るために中井さんが始めたのが公式ブログ「1日1鉄!」です。その名のとおり毎日必ず鉄道写真を撮影し、コメントとともにブログ上で公開。2004年の春からはほぼ毎日更新を続けている「1日1鉄!」は大切なライフワークとなりました。

オープンまでの準備期間わずか2か月!? 夢がカタチになった「ゆる鉄画廊」

「1日1鉄!」と同様に中井さんにとっての代名詞が「ゆる鉄」です。「ゆる鉄」とは鉄道に乗っている時に感じる旅情やのんびりとした雰囲気といった目に見えないものを被写体にした作品群のこと。鉄道に興味がない人にもわかりやすく伝えるように中井さん自ら「ゆる鉄」というネーミングを発案しました。中井さんが撮影した「ゆる鉄」が展示されている「ゆる鉄画廊」は入場無料。作品は購入も可能です。

「いつかは自分のギャラリーを」という漠然とした夢の実現に向けて一歩を踏み出すきっかけは数年前に訪れたパリ北駅内の写真を販売するお店にありました。まるでカフェに入るように気軽にお客さんが写真を買求める様子が中井さんにはとても素敵な光景に映ったそうです。毎年定期的にギャラリーを借りて「ゆる鉄画廊」を開催していた中井さんですが、たまたま昨年3月にジョイフル三ノ輪の中に空き物件を見つけ、内見をしてみるとたち

まち一目ぼれ。千葉県の小湊鉄道沿線も候補として検討したこともありましたが、都電荒川線がすぐそばを走るロケーション、設備面も申し分ないことから即決に至り、ゴールデンウィークにオープンを迎えることになりました。あれよあれよという間に夢が現実となる急転直下の展開は、中井さんご自身にとっても大きな驚きだったそうです。

人のあたたかみや美味しいグルメにほっこり 都電沿線の街並みに懐かしい思い出を重ねる

「ゆる鉄画廊」を開く以前から荒川区は縁のある街。アクセスの良い日暮里駅が気に入り、東日暮里に住んでいたことも。都電荒川線を撮りに訪れていた三ノ輪橋周辺は食べ歩きも大きな楽しみでした。ジョイフル三ノ輪にある「とりふじ」の「メンコロ」や「オオムラパン」の「ウインナーロール」、町屋二丁目停留場そばのカフェ「ファントム」で味わえる「自家製プリン」など、お気に入りのグルメを挙げてくれました。

「都電荒川線の車窓から見える三ノ輪橋から荒川七丁目周辺の街並みは東京で育った僕にとっての懐かしい故郷の風景そのもの。国内外に撮ってみたい鉄道や風景がたくさんありすぎて、人生がいくつあっても足りないくらい。僕の写真を見てくれる人が一人でもいる限り撮り続けます!」

鉄道写真家・中井精也さんの「ゆる鉄」の旅に終着駅はありません。



4月30日まで「ゆる鉄画廊」にて企画展「開運風水写真展 風水でオススメの写真的飾り方」を開催中。

この世界逃れあたわざるもの

ひとつは **死** (肉体と魂) ひとつは **税金** (徴収と使途)

みんなで考えよう人間の命と税金!!



嘘でもいいから
「ありがとう」と言おう

税理士/行政書士/再生コーディネーター

伊坂会計総合事務所

荒川区南千住5-9-6/ホームページ: <http://isaka-office.biz/>
荒川区南千住5-9-6/Eメール: isaka_office@yahoo.co.jp

TEL 03-3802-1418 (代) 職人税理士34年 伊坂かつやす

木曾路

期間: 4月19日(金)~5月20日(水)まで

奈良井をらい

盛り込み(前菜、お造り、煮物、和牛あん焼き、茶碗蒸し、揚物、御飯、汁物、春の物、デザート)

3,000円 (税込3,240円)

お昼の集い

期間: 3月28日(木)~5月6日(祝)まで

春のお造り盛合せ
2,800円(税込3,024円)

<国産>はまぐりの酒蒸し
800円(税込864円)

桜海老のかき揚げ
800円(税込864円)

季節の逸品フェア

山菜と帆立の貝焼き
800円(税込864円)

白魚せんべい
600円(税込648円)

山菜の天婦羅
800円(税込864円)

歓送迎会ご予約承ります。

※無料送迎バスをご用意いたします。※ご予算ご相談ください。

木曾路南千住店

荒川区南千住 5-6-15

電話: 03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント

- 2,160円以上の料理をご注文に限りです。
- グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
- 他券との併用はできません。
- ご飲食前に係員にお渡しください。
- 2019年5月31日まで
- 木曾路南千住店のみの有効